

# 令和3年度 東海教育オーディオロジー研究協議会 第18回講演会

後援 東海地区聾学校長会

- 1 日 時 令和4年2月5日(土) 10:10~16:00  
※オンデマンド2月14日(月)~3月6日(日)
- 2 会 場 名古屋市総合社会福祉会館 Tel 052-911-3191  
北区清水四丁目17-1(北区総合庁舎内7F)  
※地下鉄名城線「黒川」下車徒歩5分、黒川交差点 南 300m
- 3 講 師 福岡国際医療福祉大学 言語聴覚専攻科長  
平島 ユイ子 教授



岐阜県立揖斐特別支援学校  
小川 征利 先生

- 4 日 程 9:50~10:10 受付  
10:10~10:15 開会式・日程説明  
10:15~11:45 講演 『知っておきたい、新しい?聴覚障害』  
岐阜県立揖斐特別支援学校 小川 征利 先生  
11:45~13:00 昼食  
13:00~15:30 講演 『難聴児の言語・コミュニケーション指導~訂正方略の活用』  
福岡国際医療福祉大学 教授 平島 ユイ子 先生  
15:30~15:50 質疑応答  
15:50~16:00 閉会式

- 5 参加費 会員無料(非会員:1,000円)  
※当日会場にてお支払いください。  
※オンデマンドで参加の方は、下記の振込先にご入金ください。振込手数料はご自身でご負担願います。  
入金確認のため、申込者名での振込にご協力ください。

振込先 ゆうちょ銀行  
預金種目:普通預金 口座番号:7920701 店名:ニーハ(読み方:ニイチハチ)  
店番:218 口座名義:東海教育オーディオロジー(聴能学)研究協議会  
振込締切:令和4年1月23日(日)

- 6 定 員 60名

- 7 申 込 申込み期間 12月1日(水)~1月10日(月)  
・参加希望の方は、[Googleフォーム](#)で、必要事項を記入・選択して、申し込んでください。  
・情報保障(手話通訳)が必要な方は、申込みの際に選択してください。オンデマンドの場合は文字起こし原稿とさせていただきます。

申込先 Google フォーム : オンデマンド用 <https://forms.gle/xDGMSSbauK6F7Zx59>

通常用 <https://forms.gle/nE8Ew9JJiDaW55gF6>

オンデマンド用  
QRコード



通常用  
QRコード



裏面に続く

**\*注意事項**

- ・メールアドレス入力ミスにご注意ください。
- ・申し込み後すぐに、申し込み完了メールが届きます。届かない場合は、メールアドレスの入力ミス、もしくは、迷惑メール等の設定をしている場合があります。
- ・メールアドレスの入力ミスの場合は、再度Googleフォームでお申込みください。

\*ご不明な点がございましたら、下記にお問い合わせください。

東海教育オーディオロジー研究協議会事務局

メールアドレス:[toukai.ed.aud@gmail.com](mailto:toukai.ed.aud@gmail.com)

HPアドレス:<http://www.normanet.ne.jp/~tokai/>

※電話でのお問い合わせはご遠慮ください。

**8 その他**

- ・公共交通機関でお越しください。
- ・昼食は、会場でおとりいただけます。
- ・感染症対策として、受付時に検温を実施します。また、体調が悪い場合の受講はご遠慮ください。
- ・新型コロナウイルスの感染状況によっては、オンデマンドのみになります。その場合、メールにてお知らせします。
- ・オンデマンドの場合は、入金確認ができた方へアクセスに必要なURLとパスワードを2月13日（日）までにメールでお知らせします。

**9 紹介 (1) 午前の講師 岐阜県立揖斐特別支援学校 小川 征利 先生**

**○講演要旨**

『知っておきたい、新しい?聴覚障害』

「オーディトリニューロパチ」「隠れ難聴」など、聞いたことはあるけれど詳しくは分からない「新しい?聴覚障害」について、聴覚障害臨床に携わる皆様を知っておいてほしい内容についてお話しします。

**(2) 午後の講師**

平島 ユイ子(ひらしま ゆいこ) 先生

福岡国際医療福祉大学 言語聴覚専攻科長

<経歴>

1985年広島大学学校教育学部卒業後、通常及び特別支援教育教諭として公立学校に勤務。

1996年福岡教育大学修士課程修了(教育学修士)。

2012年国際医療福祉大学博士課程修了(保健医療学博士)。

公立学校を退職し、2012年から国際医療福祉大学福岡保健医療学部言語聴覚学科勤務。

2019年より福岡国際医療福祉大学言語聴覚専攻科 教授 専攻科長 言語聴覚士。専門は聴覚障害、言語発達障害。

**○講演要旨**

難聴児の言語・コミュニケーションの現状と指導方法について述べる。

また、聞こえないときの対応スキルである訂正方略とその指導について説明する。